

NEWS RELEASE

8月17日発売 新「フラルネ」シリーズ 自社の廃棄包装資材から再生されたプラスチックを容器に割り当て ～資源循環型モデルの構築～

株式会社アルビオン(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 章一)は、2025年8月17日発売のスキンケアシリーズ、新「フラルネ」にて、新たな資源循環型モデルの成果として、自社の廃棄包装資材から再生されたプラスチックをマスバランス方式※で容器に割り当てます。

※ マスバランス方式

原料から製品への加工・流通工程において、ある特性をもった原料(例:バイオマス割り当て原料)がそうでない原料(例:石油由来原料)と混合される場合に、その特性をもった原料の投入量に応じて、製品の一部にその特性の割り当てを行う手法。

資源循環型モデル構築の実現

アルビオンは、株式会社リファインバースグループ、三菱ケミカル株式会社、日本ポリプロ株式会社が構築した資源循環型モデルに参加し、新たに株式会社吉野工業所の協力を得て、この度、アルビオン熊谷工場にて廃棄されていた緩衝材やポリ袋などの包装資材を再生し、化粧品容器のプラスチック材料へ割り当てることが可能となりました。この成果は、資源循環の実現に向けた革新的な進展であるとともに、各協力会社様との強力な連携があってこそ実現したものです。

フラルネ容器完成までの流れ



8月17日発売 新「フラルネ」シリーズへ採用

新「フラルネ」シリーズ容器のPP材質の一部にアルビオンから排出された廃棄包装資材を再生したプラスチックを割り当てます。持続可能性を意識する消費者の皆様に向けた取り組みを象徴する新製品です。高級化粧品容器としてのデザイン性や品質を損なうことなく、環境配慮型容器づくりを実現しました。

商品名	容量	廃棄資材からリサイクルしたプラスチック使用部分
アルビオン フラルネ フルリファイン ミルク f M/EM	200g/110g	ボトル・ポンプ
アルビオン フラルネ ハイドロボム プラス	200ml/110ml	キャップ (ボトルはケミカルリサイクルPETを採用)
アルビオン フラルネ セラム イン トータル	40ml	ポンプ
アルビオン フラルネ コクメルティ クリーム	30g	キャップ

今後の展望

今後も新製品への活用を積極的に検討してまいります。アルビオンは、これからもデザイン性・品質・使いやすさを大切にしつつ、ステークホルダーの皆様と力を合わせ、サステナブルな製品づくりを一層進めてまいります。

アルビオン 設計グループ コメント

この度、資源循環型モデルに参加し、自社の廃棄包装資材を容器に再生する取り組みを実現できたことを大変嬉しく思います。今回の新「フルルネ」シリーズ容器の完成は、各協力会社様の高度な技術と柔軟なご対応、そして緊密な連携が結集し実現したものです。廃棄包装資材の回収、原料化、そして容器成型に至る全ての工程で大きなご支援をいただきました。各協力会社皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

容器設計におきましても、外観色、微妙な曲線などデザイナーの提案を実現すべく試作を重ね、細部にこだわり作り上げてまいりました。そして今、新「フルルネ」シリーズ容器の完成は、今後の容器づくりの確かな礎の一つになったものと感じています。

これからもアルビオン 設計グループは、持続可能な社会の実現に向け、環境に配慮した化粧品容器づくりを追求してまいります。



各協力会社様とアルビオン設計グループ・サステナビリティ戦略グループ

■資料

2025.02.28発行リリース

[プラスチック製包装材料の新たな循環型モデル構築に向けて取り組みを開始～廃棄資材を再生して化粧品容器へ～](#)

[株式会社リファインバースグループ](#)



(左から)
サーキュラービジネス部
平山 様
素材ビジネス部
川内 様

[三菱ケミカル株式会社](#)



ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ
ビジネスグループ
戦略企画本部
CN・CE戦略部
内野 様

[日本ポリプロ株式会社](#)



生活産業材料部
(左から)
仁子 様
山越 様
榎谷 様

[株式会社吉野工業所](#)



営業部
徳光 様

株式会社アルビオン 設計グループ・サステナビリティ戦略グループ



設計グループ 齋藤・遠藤・杉田・山岡・安藤・伊藤・田部
サステナビリティ戦略グループ 山本